

500g

ビタミンB₆剤

ビタミンB₆散10% 「マルイシ」

Pyridoxine Hydrochloride Powder 10%
[Maruishi]

製造販売元

 丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

500g
ビタミンB₆散10%「マルイシ」

2009年9月作成(第1版)	
日本標準商品分類番号	873134
承認番号	21900AMX00794
薬価収載	2007年6月
販売開始	2007年6月
再評価結果	1993年9月

貯法：遮光し、室温保存
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

●組成・性状

- 組成
1g中 ピリドキシン塩酸塩 0.1g(10%)
及び添加物として乳糖水和物、ヒドロキソプロピルセルロース含有。
- 性状
ほとんど無臭の白色～微類黄色の散剤で酸味がある。

製造番号

使用期限



JAN

GS1-RSS



4



(01)14987211311923



箱



袋:PE

500g

ビタミンB₆剤

ビタミンB₆散10% 「マルイシ」

Pyridoxine Hydrochloride Powder 10%
[Maruishi]

製造販売元

 丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

●効能・効果

- ビタミンB₆欠乏症の予防及び治療
(薬物投与によるものを含む。例えばイソニアジド)
- ビタミンB₆の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給
(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦など)
- ビタミンB₆依存症(ビタミンB₆反応性貧血など)
- 下記疾患のうち、ビタミンB₆の欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合
 - 1)口角炎、口唇炎、舌炎
 - 2)急・慢性湿疹、脂漏性湿疹、接触皮膚炎
 - 3)末梢神経炎
 - 4)放射線障害(宿酔)

●用法・用量

ピリドキシン塩酸塩として、通常成人1日10～100mg(本剤：0.1～1g)を経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
きわめてまれであるが、依存症の場合には、より大量を用いる必要がある場合もある。

●用法・用量に関連する使用上の注意

依存症に大量を用いる必要がある場合は観察を十分に行いながら投与すること。特に新生児、乳幼児への投与は少量から徐々に増量し、症状に適合した投与量に到達させること(「2.副作用(1)重大な副作用」及び「3.小児等への投与」の項参照)。

●使用上の注意

- 相互作用
併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
レボドパ	レボドパの作用を減弱することがある。	レボドパのドパミンへの脳以外の代謝が増加し、ドパミンは血液脳関門を通過し難いことから作用が減弱する。

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1)重大な副作用

横紋筋融解症(頻度不明)：新生児、乳幼児に大量に用いた場合、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇を特徴とする横紋筋融解症があらわれ、急性腎不全等の重篤な障害に至ることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には直ちに投与を中止すること(「用法・用量に関連する使用上の注意」及び「3.小児等への投与」の項参照)。

(2)その他の副作用

	頻度不明
皮膚 ^{注1)}	光線過敏症
消化器 ^{注3)}	下痢、嘔吐
肝臓 ^{注3)}	肝機能異常
大量・長期投与 ^{注2)}	末梢神経障害(手足のしびれ、知覚異常等)

注1)このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。
注2)観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止すること。
注3)新生児、乳幼児に大量に用いた場合、認められたとの報告がある。

3.小児等への投与

新生児、乳幼児に大量に用いた場合、横紋筋融解症、下痢、嘔吐、肝機能異常等の副作用があらわれることがあるので、慎重に投与すること。